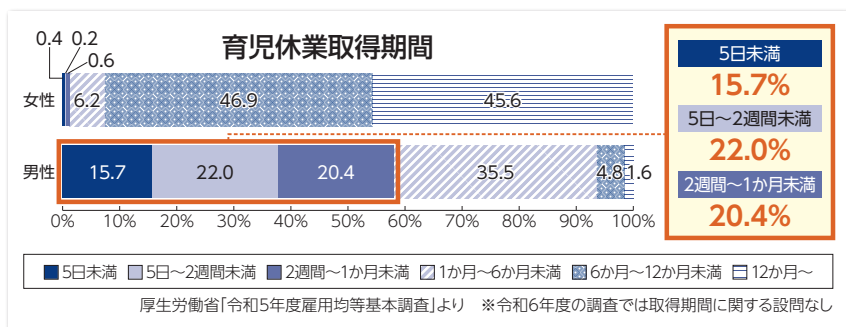


男性育休時代の働き方改革 誰が休んでもまわる組織へ

令和6年度に国が実施した調査では、男性の育児休業取得率が40.5%と前年度調査より10.4ポイント上昇し、過去最高となりました。一方で、取得期間は約4割が2週間未満、約6割が1か月未満と短期間で、形式的な取得が多いことも課題となっています（下表）。

男性育休の定着への取り組みは、育休に限らず、いつ誰が休んでもまわる組織をつくる好機です。先進企業の事例とグループワークから、組織のあり方を見つめ直し、具体的な働き方改革につなげます。



講師・コーディネーター

高橋 理里子 氏

ミライズ株式会社 専務取締役、
ミライズコンサルティング
代表コンサルタント



元NHKキャスター。企業コンサルタントとして、人材育成・組織開発・女性活躍・働き方改革等のコンサルティングを実施。経営戦略としての働き方改革、生産性向上のための組織開発、女性活躍推進、レジリエンス強化、EQリーダーシップ等、数々のセミナーを提供している。
国家資格2級キャリアコンサルティング技能士、日本キャリア開発協会認定CDA、6seconds認定シニアEQファシリテーター、株式会社ワーク・ライフバランス認定上級コンサルタント。
福島県ふくしま創生・人口戦略有識者会議委員、厚生労働省治療と仕事の両立支援推進「福島県地域両立支援推進チーム」メンバー、福島県中小企業振興審議会委員 他。

日時 令和8年7月23日 木
13:30～15:30 オンライン開催 (Zoom)

内容

第1部 13:30～14:40

■講師レクチャー・先進企業の事例紹介

株式会社ビー・プロ

総務部 総務課 係長

黒沼 由美氏

育休取得者・上司へのサポートに加え、育休を支える社員向けに「フォロー手当」を新設し、初の長期男性育休取得（5か月）を実現。制度や育休への理解が社内全体に浸透し、社員同士が相互に協力し合う体制へつながっている。



陽光ビルサービス株式会社

取締役顧問

鈴木 信之氏

労働集約型のビルメンテナンス企業で、社長自らワーク・ライフ・バランスを基盤に「働きがい」と「革新」の企業理念の具体化を推進。管理職の理解促進と業務改革を進め、2025年度に6か月と1年の長期男性育休取得者2名を実現した。



第2部 14:40～15:30

■グループワーク

想定されるケースから、具体的な対応策を考えます。

●ファシリテーター

仙台働く女性のネットワーク Radi-Lady (ラディレディ)

※「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」修了者のネットワーク

対象

企業等の人事労務担当者、
管理職 など

定員

80名

参加費 無料

申込

申込締切日

7月21日 火

(6月8日(月) 午前9時から受付開始)



詳細・申込は
こちら

※二次元コードまたはホームページ (<https://www.sendai-l.jp/event/18452.html>) からお申し込みください。ご指定のメールアドレスに視聴用 URL をご案内します。

※申込者限定で、当日の内容の一部をアーカイブ公開する予定です。

問合せ

仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台 管理事業課

TEL : 022-268-8044

E-mail : event@sendai-l.jp

主催 仙台市、(公財) せんだい男女共同参画財団

後援 (一社) 仙台経済同友会、(一社) 宮城県経営者協会、仙台商工会議所、東北経済産業局、宮城県中小企業団体中央会、宮城労働局 (五十音順)

※申し込みの際にいただいた個人情報は、本セミナーの事務連絡及び個人を特定しない情報として利用します。また、主催団体からイベント等のお知らせをお送りする場合があります。